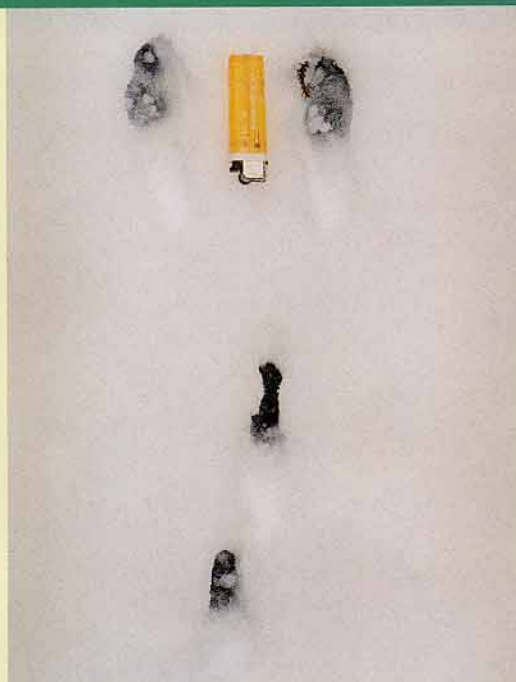


酒吞童子山地域の^{ほ にゅう}哺乳類

ノウサギの不思議

酒吞童子山地域には、イノシシやキツネをはじめ7目9科14種の^{ほ にゅう}哺乳類が生息していることがわかりました。その内訳は、哺乳類一覧で示しています。今回は、この調査で確認されたノウサギの不思議について紹介します。



ノウサギの足跡

不思議Ⅰ

ノウサギの足跡

普通^{ほ にゅう}哺乳類の足跡は、進行方向に対して手前が後足、前方が前足になります。しかし、ノウサギの足跡は逆になります。左の写真を見てください。左右に開いた大きな足跡と前後に並ぶ足跡が確認できると思います。この左右に開いた足跡が後足です。

前後に並んだ足跡が前足になります。この写真では下から上にノウサギが移動していることになります。この移動方法は、ウサギの仲間しかできないものです。しかも時速80キロも出します。

不思議Ⅱ

ノウサギの食べ方

ノウサギの手の指は、内側に曲がりません。このために食べ物をつかむことができないのです。それでノウサギは、鋭い歯で噛み切った根元から食べ始めるのです。葉は茎から斜め上方についているので、ノウサギの口に入っていくのです。写真は、ノウサギが噛み切った跡です。

ノウサギには、犬歯がありません。その代わりに鋭い門歯があります。成獣では上下4本の門歯が見られますが、生まれた時には下顎^{したあご}に2本、上顎^{うわあご}には6本の門歯がありますが、そのうちに外側の2本の門歯がなくなり、その隣の2本の門歯は中央の2本の門歯の裏側に移動します。



不思議Ⅲ

ノウサギの糞

ノウサギが自分の糞を食べることを知っていますか。鳥でも雛の糞を食べることはありますが、ノウサギは、常に食べています。実は、ノウサギの糞には、日頃見かける固形で植物繊維の糞とクリーム状の柔らかい糞があります。この柔らかい糞が出てくるときに、口を肛門に近付けて食べるのです。

このように自分の糞を食べる（食糞）動物には、ウサギの仲間とビーバーと子どもに糞を食べさせるコアラなどがあります。たいへん興味ある習性です。

不思議Ⅳ

ノウサギの赤ション

冬季の雪の降った後の野山に出かけて赤っぽい液体が点々とまかれたように散らばっている情景を見かけたことはありませんか。この赤っぽいものは、ノウサギの尿です。しかもこの尿（赤ション）は、発情している個体しか出しません。この尿を出すことで自分が繁殖できることを他の個体に知らせているのです。

冬の野山でこの赤ションを見かけたらノウサギが繁殖に入っている証だと思ってください。



雪の降った後の冬の野山には、いろんな動物の足跡があり、生活の様子がわかります。是非、雪が降ったときには家の周辺の野山に出かけ、雪上に残された足跡を探してみよう。

酒呑童子山地域で確認された哺乳類一覧

- | | | | | |
|---------|--------|----------|--------|-------|
| ・コウベモグラ | ・カワネズミ | ・アブラコウモリ | ・ニホンザル | ・ノウサギ |
| ・ムササビ | ・ヒメネズミ | ・ハツカネズミ | ・キツネ | ・イタチ |
| ・アナグマ | ・イノシシ | ・テン | ・タヌキ | |

この地域には、ニホンジカの生息は確認されませんでした。この地域の人工林の割合が大きいために照葉樹林などの広葉樹が必要不可欠なニホンジカの生息に不適だと思われます。